

# 貧酸素水塊速報 (2015年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 神奈川県水産技術センター  
 千葉県農林水産技術会議  
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター  
 東京都環境局  
 第三管区海上保安本部  
 (独)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成27年8月20日観測結果

貧酸素水塊は内湾の広範囲に分布しており、溶存酸素量が1.0ml/L以下の海域も内湾北部を中心に広がっています(図1)。

縦断ラインでの鉛直分布をみると、2.5ml/L以下の水塊は最大で海底から15m程の厚みを持ち、規模は直近10年の平均並みです(図2、3)。北風が吹き続けると、湾奥では青潮が発生する可能性があるため、この水塊の動きに注意が必要です。

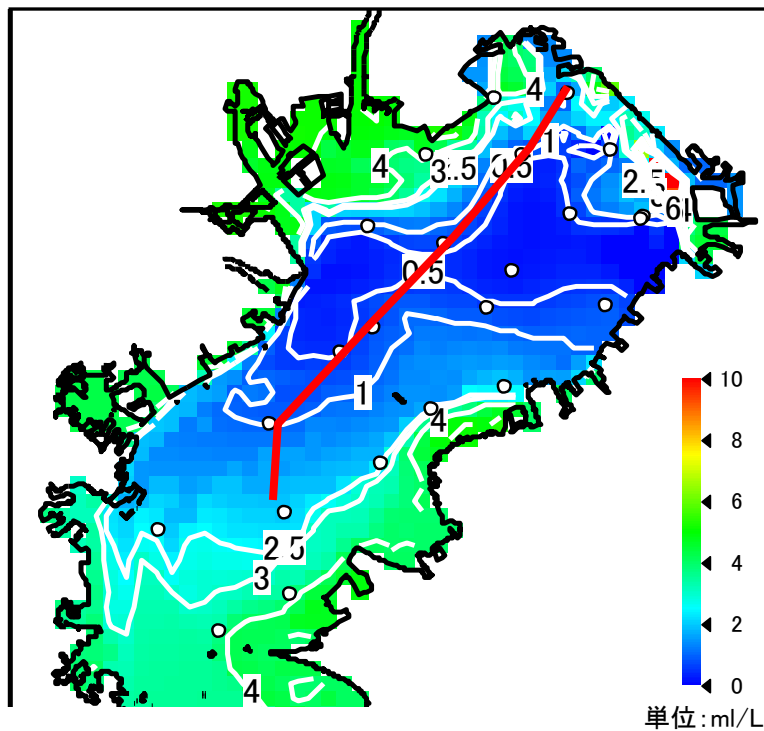


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

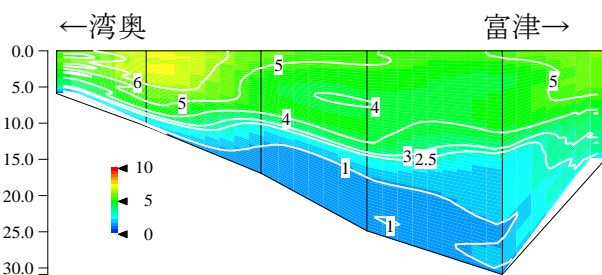


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

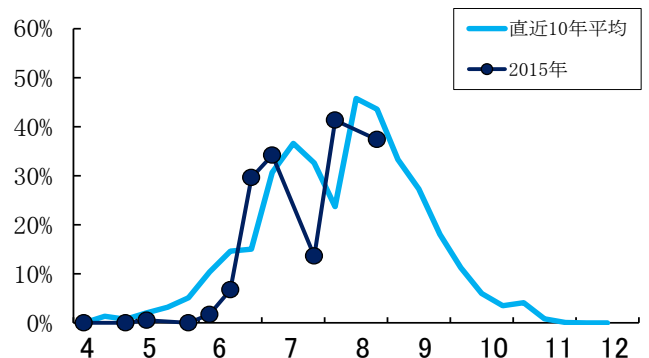


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)